



スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を



日本自立生活センター自立支援事業所 2019年1月29日発行 第94号

居場所づくり勉強会 第54弾 虐待防止

虐待防止法の勉強をしよう！

2012年に施行された障害者虐待防止法のことはいくらも知っていますか？

この法律は、「国や地方公共団体、障害者福祉施設従事者等、使用者などに障害者虐待の防止等のための責務を課すとともに、障害者虐待を受けたと思われる障害者を発見したのものに対する通報義務を課すなどしています。」（厚労省のページより）

障害当事者、家族、介助者など、みんなにとっても関係がある法律です。

でも、「虐待」って何でしょう？

「虐待」が何かわからなければ、障害者がひどいことをされていても、「それは虐待です」となかなか言えません。

虐待防止法や虐待とは何かについて、みんなできちんと勉強したいと思います。

みなさんぜひお越しください。

（この勉強会は、自立支援事業所の職員研修も兼ねています。）

◆日 時：2019年2月28日（木） 14:00～16:00

◆場 所：JCIL 本体事務所（十条通り沿いの事務所）

◆講 師：舟木浩弁護士（つくし法律事務所）

◆参加費：無料

◆担 当：渡邊



こころとからだをすっきり！ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか？ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふうに動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ！ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

★ヨ ガ：全身をうごかすヨガ

日 時：2月18日（月）

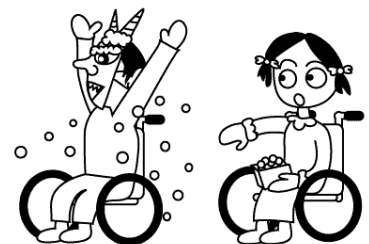
17:00-18:15（OPEN16:45）

場 所：油小路事務所2F

持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物

参加費：無料

*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。



日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:岡山・橋口

TEL:075-682-7950 E-mail:jcil-kyoto@jcil.jp URL:http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html

第33回 国際障害者年連続シンポジウム

筋ジストロフィー・クリスマス・シンポジウムを終えて

大藪 光俊

昨年末の12月24日、世間はクリスマスイブの雰囲気が高揚する中、筋ジス病棟と障害者の暮らしについて考えるシンポジウムが京都テルサで行われました。寒さ厳しい中、関東や九州等といった遠方からも足を運んでくださり、会場には130名を超える方々にご来場いただきました。また今回は、入院中等の理由で来場が難しい方にも参加していただけるように、YouTubeによるインターネット生中継も行い、大勢の方にシンポジウムの様子を見ていただくことができました。

午前の部は、新潟病院長の中島さんによる基調講演に始まりました。その後、宇多野病院長の梶さんにもご登壇いただいて、筋ジス当事者からの質問に答えていただく質疑応答が行われました。そして、午後の部では、筋ジス病棟を退院して地域で自立生活を始められた3名の筋ジス当事者より、入院生活から自立生活実現までの道のりを報告いただき、続いて、現地域移行を目指して奮闘しておられる、京都の宇多野病院および金沢の医王病院に入院中の当事者3名からの生の声がスカイプを通して参加者に届けられました。最後には、立命館大学教授の立岩さんによる旧国立療養所の戦後の歴史や現在の課題が述べられた後、地域移行支援に実際に関わってきたメインストリーム協会とJCILの支援者からの報告をもって、シンポジウムの幕が閉じられました。

私自身、1年前から宇多野病院の地域移行支援に関わらせていただいているのですが、今回のシンポジウムで最も心に残ったことがありました。それは、当事者からの質問タイムで、宇多野病院長の梶さんが「安全管理という名の下で、医療者側の責任を取りたくないという保身があった。これからは患者さんの自己選択を最優先できるようにしたい。」という趣旨の発言をしてくださったことです。今まで宇多野病院を訪問し、入院中の方から話を聞かされたときに「どうして病院に入院しているというだけで、これほど束縛された生活を送らなければいけないのか…」と何度もやるせない気持ちを抱いてきた私にとって、梶さんのその言葉は本当に嬉しいものでした。また、宇多野に入院中の友人も心底喜んでくれていました。

そして今、シンポジウムの影響はすさまじい勢いで広がり、当日スカイプで話してくださった入院中のお三方全員が、退院と自立生活に向けた具体的な動きに突入し始めておられます。私自身もすごくワクワクしています。これからも一筋縄ではいかないことも多々あると思いますが、この大きな流れに乗って、みんなで自由という喜びを分かち合えるように頑張りたいと思います！ありがとうございました。

総合支援法が改正されるよ！？ えっ、ほんま？Part173

自立生活満喫中のリツコさん
でもあんまり難しい話は苦手…



こんにちはー。寒い季節になったね。
タクオさんは体調大丈夫？

うん。私も元気！とりあえず、よく寝て、よく食べて、体調に気をつけたい。

うん。もうちょっとしたら、春やね。今日はなんのお話だろう。

あつ。この前のシンポジウム。なんかすごい内容のシンポジウムやったね。筋ジス病棟のある病院の院長先生が二人も来てたし、退院して自立生活している人たちの話もあったし、それから、今まさに入院している人たちのライブ中継もあったもんね。

そうなんやー。病院からの実況中継とか、すごかったね。びっくりした。

そうやねー。入院中の患者さんとか、簡単には外出できないから、とても貴重な配信だったと思う。

うん。筋ジス病棟は、簡単には退院できない場所、もう退院をあきらめている人もたくさんいる、と言われているよね。その人たちに、ぜひ、退院して自立生活できるんだ、というメッセージを届けたい。

うん。このシンポジウムによって、病院の雰囲気が変わりはじめているところもあるみたい。退院への道が開け始めた人もいるみたいだよ。

そやね。私たちも、がんばりたい！

障害者制度改革について
勉強中のタクオさん
小難しいこともやさしく(?)解説



こんにちは。今年は今のところ大丈夫。インフルエンザも流行りだしたしね。リツコさんは大丈夫？

そうだね。そういえば、日も少しずつ長くなってきたね。日暮れが少しずつ遅くなってる。

今日は、この前の「筋ジスクリスマスシンポジウム」のお話をしようかな。

うん。今回は、JCILと兵庫のメインストリームの共同企画で、それから、立命館大学の先生や京都新聞の方などの協力もあったから、いろんな視点からの充実した企画になったね。

ほんとそうだね。実況中継するために、金沢の病院まで当日スタッフが行っているんだ。もちろん京都の病院にも。あと、当日会場に来れない人たちのために、Youtubeでライブ配信もしていたよね。それらの配信や中継の操作を会場で行ってくれていた人たちの力も大きいね。

うん。今でも「JCIL Youtube」で検索したら見れるから、知らない人には紹介してあげて。

そうだね。やっぱり病院を退院して自立生活を始めた人たちの話には、とても勇気づけられるものがある。それから、院長先生が、これから患者の自立の意思、自己決定を尊重していきたいと宣言していたのも大きいね。

うん。すごいね。でもこれから問われるのは、地域力だね。自立したいという人たちを、みんなで連携して、なんとしても応援して、支え続けていかないといけない。

うん。みんなで力をあわせて、がんばろー！

矢吹文敏理事長と渡邊琢さんが新しい本 を出したのでご紹介します！



『下から目線 車いす視点から社会を斬る』

(矢吹文敏著 ウインかもがわ 1,620円)

「今年も忙しくなりそうな...底冷えの京都で熱いデモ」「生活保護費引き下げの理屈」「ボヤキの高齢者、えっ障害者?」「障害者福祉法をめぐる攻防」「地域格差の現実」などなど盛りだくさん!



『障害者の傷、介助者の痛み』

(渡邊琢著 青土社 2,200円+税)

相模原障害者殺傷事件は社会に何を問いかけたのか。あらためて、いま障害のある人とない人がともに地域で生きていくために何ができるのか。障害者と介助者が互いに傷つきながらも手に手を取り合ってきた現場の歴史をたどりながら、介助と社会の未来に向けて言葉をつむぐ。関係性にとまどいながら、つながり続けるために

～小松食堂より「参加費値上げ」のお知らせ～
2月より参加費が300円から320円になります。
何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

小松食堂

二月の献立

七日(木)

おでん ごはん

バレンタインデザート

二五日(月)

おこわ

みそ汁

どなたでも参加できます。
場所は「松の間」
いざれも一七時から

参加費 三二〇円